

「ノアの洪水 (3)」

2025.3.12

聖書に学ぶ 6

創世記 7:11~8:22

ノアとその家族は箱舟を通して、洪水の滅びから救われました。その細かい話が聖書に記されていますが、これは聖書だけに書かれていることではなく、世界中の様々な民族、人種の中に洪水物語として語り継がれています。

また、人類は3種類の祖先セム系、ハム系、ヤペテ系に別れて広がって行った経緯があります。私たちは「洪水と箱舟」について、どのように考えているでしょうか。

今日の学びの要点

- ・ 空に虹が出たとき、私たちは聖書に書かれていることが、成就する時が来ることを深く思いましょう。ノアの箱舟とイエス・キリストの十字架と復活の意味を思いながら、主に感謝しましょう。

I、箱舟に心を止められる神様

- 1、今まで体験したことがないような大雨が降り始めました。
神様は何をされたのでしょうか。(創世記 7:11)
①この水はどこから来たのでしょうか。(創世記 1:6~7)
- 2、40日の大雨の後、さらに水が150日間増え続けました。
箱舟の外で、すべてが滅亡する中で、箱舟のいのちの息のあるものたちはどうだったのでしょうか(創世記 7:18、8:1)
- 3、箱舟の中の者たちは、神様が自分たちに心を止めて下さっていることが分かっていたのでしょうか。

Ⅱ、神様のみこころに従う

1、地上の全てのものが消し去られた後、神様は水をどうされたでしょうか。（創世記 8:1~2）

①天からの大雨が^{とど}止められるために・・・（創世記 8:2）

②水が引き始めるために・・・（創世記 8:1）

2、1年が過ぎようとする頃、神様は、箱舟から出たものが生きて、生活することも考えて下さいます。ノアはどう考えたでしょうか。

①洪水の始まり（創世記 7:11） ----- 洪水後地上が乾いた時（創世記 8:13）

②地が乾いたと分かりました。ノアの判断の基準は何でしょうか。

3、ノアの家族たちは、箱舟から出た時、どのようなことを思ったでしょうか。

* すべてが死に絶えたのに、なぜ自分たちだけが助かったのか？

Ⅲ、神様と人との約束

1、外に出て、ノアたちが最初にしたことは何でしょうか。（創世記 8:20）

2、神様は虹を契約のしるしとされました。どのような約束でしょうか。（創世記 8:21~9:16）

3、現在の私たちにとって、箱舟は何でしょうか。